

# 季刊 小林のぶゆき

第25号

2017年11月発行号

見える  
わかる  
変わる



横須賀市議会議員(会派:研政) 小林伸行の議会活動報告

無所属42歳



横須賀を  
前へ

発行人 小林伸行 小林のぶゆき 検索  
住所 野比2-13-18 f t BLOG  
Fax 050-3737-3872  
移動事務所 ☎ 070-6640-3927  
✉ info@kobayashinobuyuki.com  
Web http://kobayashinobuyuki.com

野比在住。昭和50年9月3日、福島県生。筑波大学卒。地域情報誌と環境コンサルティングに携わるが、地域の疲弊と日本の将来を憂い、政治を志す。政策秘書試験合格後、衆議院議員長島一由(前逗子市長)公設秘書として修行し、2011年4月より横須賀市議会議員。マニフェスト大賞でも6年連続で受賞するなど政策派として活躍

特集

## 実際どうなの、新市長？



お知らせ

市の予算、勝手に公開しちゃいました。  
祝マニフェスト大賞で会派研政が受賞

## 特集 実際どうなの、新市長？

### 議会で見えてきた、新市長の姿

6月の市長選で、新しく上地克明さんが選ばれました。市を二分するような激しい選挙戦。新聞・TV・雑誌でも数多く取り上げられたこともあり、市民の関心も高かったと思います。その後、「新しい市長はどう？」とたずねられることも多いので、議会で見えてきた市長選前後の変化をご報告します。

私は前号・前々号で書いたとおり、誰も応援しませんでした。前市長の評価はしっかりお伝えしてきました。結果として、多数の市民が前市長を選びませんでした。これは、横須賀市政のために良い選択だったと思います。前市長では、彼の能力や政策とは関係なく、市政の停滞が避けられなかったからです。

### 対立が招いた、市政の停滞

前々号で地方制度を「市長を信用して任せる仕組み」と書きました。しかし、その市長を監督する立場の議員の大半が、前市長に対し信用できないと考えていました。この結果、何が起きていたのか？

市の事業は、職員や民間の企画も受け、市長から提案されて議会が決定します。しかし、前市長が提案した事業は、議会からの否決や厳しい追及を受けることが多かった。

中には、魅力的な事業もありました。東京R不動産と組んだトライアルステイ\*1 や、広告代理店と組んだアーティスト展\*2 など、私はぜひ実現してほしい。

\*1:おしゃれ系にリノベーションした空家へのお試し居住事業。かわりに、三浦市が実施  
\*2:美術館でのポップスやロックのアーティストを切り口にした展示。ラルク展と70's展のみ実現



しかし、せっかく企画しても、批判されたり途中で止まったりが続けば、職員や民間業者も意欲的な提案を控えるようになっていきます。…これが市政停滞の大きな要因でした。

じゃあ、議会が抵抗勢力だったのか？

### 「無信不立」～信なくば立たず～

当選直後、色々な事業に反対する議員らに対し、私は「市長が憎ければ事業まで憎いのか？」と批判したこともあります。しかし、議会の中でじっくり見渡しているうちに、違う風景も見えてきました。

国では安倍首相もそうですが、手続きを軽視して、グレーなことにも平気で手を染めていれば、不信感を抱くのは当然です。市議会も、「この市長が出してくる事業には何か問題があるのではないか」と疑心暗鬼になっていました。政治は「信なくば立たず」と言われます。「市長を信用して任せる」制度である以上、信頼関係は大前提なのです。

### じゃあ、新市長はどうか？

一方、上地さんは、議員時代に厚い信頼を築いてきました。そのため、上地市長を擁立した議員だけでなく、前市長を支援した議員や他候補を立てた共産党も含め、政策の方向性に違いはあっても不信感はない印象です。むしろ質疑中に冗談を交えて笑いが漏れるほどで、緊張感が薄れ不安を覚える位です。

裏面に続く→



↑議会質疑中、思わず笑みをこぼす、上地市長

※イラスト提供: いちごちゃん http://www.itsugochan.com/

## 積極投資で、財政はもつのか？

心配なのは、「積極投資」を掲げて当選した上地市長に議員からの要望が相次ぎ、支出が無秩序に増えていくことです。ただし上地市長は、応援を受けた議員と、そうでない議員とで、対応を変えていない。これは、露骨に議員ごとに対応を分けた前市長との大きな違いです。逆に言えば、応援された議員の提案であっても内容次第で、是々非々で取捨選択する姿勢も見られました。

とはいえ、いい提案であっても採用し続ければ予算がいくらあっても足りない。市長からは「前向きに検討したい」「建設的なご提案なので、ぜひ」といった答弁が繰り返され、私はむしろ不安も感じました。

もちろん、上地市長も「横須賀復活の財源を生み出すため、果敢に事業の見直しをしていく」旨、述べています。では、上地市長を信じて任せておけば大丈夫なのでしょうか？

## 議会の責任感が問われる

私は、予算のスクラップ&ビルドは、誰が市長であっても一人では難しいと思います。どんな事業や施設でも、その先には恩恵を受けている人々がいて、最終決定者は議会です。要望を受けて議会が抵抗すれば、事業・施設のリストラはできません。

**新事業・新施設を提案するなら、もう一方で廃止も提案するのが議員の責任感だと私は考えます。**

かつて「廃止案件なんて、下手に関わると地元の票を減らすから、市長に任せておけばいいって」と言った議員もいました。はっきり言いますが、そんな議員は、もう送り込まないでください！ お願いします。

## 祝 マニフェスト大賞で会派研政が受賞

私が所属する会派研政が、政策コンテスト系では日本最大となる「マニフェスト大賞」で受賞しました。市民の声を政策に反映する「市民と議員のよこすか未来会議」の取り組みが評価されました。



実は、私はこれまで、6年連続で受賞しています。最初は一人で2回、次に故・山城保男議員と1回、その後インターン生たちと2回受賞してきました。そして今回、会派の5人(伊関功滋・角井基・長谷川昇・高橋英昭・小林)で受賞と、少しずつ輪を広げてきました。

かつて全国有数の先進議会として知られ号泣議員のような政務活動費不正を許さない仕組み作りをした横須賀市議会。停滞を乗り越え、もっと市民の声に敏感な議会にし、次は、議会で受賞を狙います！



## 市民の願いをカタチにするプロが、市議会議員だ！

私はこれまでも、ハコモノ研究会を主催して、市の施設情報を独自に公開してきました。

→<http://kobayashinobuyuki.com/index.php?FacilityStudy>

また、市の予算のオープンデータ化を進め、誰でもいつでもどこでも予算の使い途を詳しく見られるようにしてきました。(↓下記お知らせ参照)

これらは、**市民参加の土台づくり**です。

そのうえで、広聴会(議員有志での「市民の声を聴く会」や会派での「市民と議員のよこすか未来会議」)を通して、みなさんの声を市政に反映する回路をつくってきました。

ムダの多い事業・施設を廃止して、本当にみなさんの役に立つ予算にする。私の雇い主である市民のために、予算のスクラップ&ビルドを今後もバリバリやっていきます。ぜひ、ご参加とご支援をお願いします！

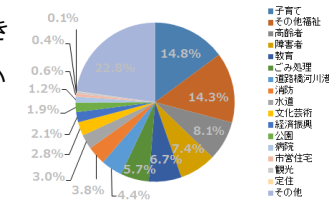
## お知らせ



## 市の予算、勝手に公開しちゃいました。

自分のサイフからお金を抜き取られて、「あなたのために使っておいたからね!」と言われたら、誰だって怒りますよね。しかも、何に使ったか、概要しか伝えられない。そんなの、ありえない話です。

そこで、「市の予算、勝手にオープンデータ化プロジェクト」を立ち上げ、議員にしか配られない予算説明資料を公開しました。併せて、厚さ50cm以上の膨大な資料をデータ化しています。これによって右グラフのように集計も簡単にできます。「市は、どんなことに、いくらぐらい使っているのかな?」と気になったら、ぜひチェックしてみてください！



→<http://kobayashinobuyuki.com/index.php?Budget>

## 応援してください!

- チラシのポスティング
- 駅でのチラシ手配り
- ご自宅への看板設置
- 学生インターン

常時、様々な手が必要です。「応援してあげてもいいよ」と思って下さった方は、お気軽にご連絡下さい。

**※政治献金・寄付は頂いていません。**

## 小林のぶゆきの基本政策

**見える** 誰が何をどう決めてるのか ぜんぜん見えない……。

市政をガラス張りにして「見える化」し、意思決定の過程も含め情報公開を進めます。

**わかる** 難しい説明をされてもよくわからない……。

いま何が問題なのか。いま何が必要なのか。チラシなどを通してわかりやすくお伝えします。

**変わる** これまで何も変わらなかった。どうせ変わらない……。

現状が見え、問題がわかれば、変えられます。私たちが払った税金が、私たちに本当に必要なことに使われるよう、変えていきます。

**今こそ横須賀を 私たちのものに。**

横須賀市政について、私の活動について、みなさまのご意見、ご提案、ご感想、疑問などお寄せください。

**必ず私、小林伸行が自分で目を通します!**

